

「山形県みどりの食料システム基本計画」一部改正（案）についての意見募集の結果

1 意見募集期間

令和8年1月15日（木）～1月30日（金）

2 提出された意見の件数

4件（意見提出者 1名）

3 提出された御意見の概要及び意見に対する県の考え方

番号	意見の概要	県の考え方
1	営農型太陽光発電、次世代型太陽電池モデル的取組は他県でも取り組まれています、山形県でも導入目標を決めて取り組まれているのでしょうか。	営農型太陽光発電は、県内でも山辺町や米沢市等で取組が進められており、県では「山形県エネルギー戦略」における「エネルギー資源の2030年開発目標」として営農型太陽光発電を含む太陽光発電で41.7万kW（設備容量）の目標を掲げています。 一方で、次世代型太陽電池（ペロブスカイト）については、県内では取組事例がないことから、普及可能性について、今後、検討していきたいと考えております。
2	図3「全国における過去10年間の農林水産関係被害額（H22～R1）、図4「本件における過去10年間の農林水産関係被害額（H24～R3）、図6「県内の温室効果ガス排出量の推移」、図7「山形県と全国の二酸化炭素排出量の内訳」は最新のものです。何か意図があり古いデータを使用しているのでしょうか。	本基本計画は令和4年度から令和8年度までの計画であり、今回の改正については、農林水産省と調整の上、必要最低限の更新としております。 御意見いただいた図の修正については、来年度予定の次期計画策定に合わせ更新する予定としております。
3	環境負荷の低減に関する目標において重要業績評価指標（KPI）は農業分野が多いのですが、漁業・林業や消費者・食品製造業者の食品ロス等の指標は設定されないのでしょうか。	本目標は「やまがた環境保全型農業推進計画（令和7年3月）」に基づき目標を定めております。 御意見いただいた、漁業・林業や消費者・食品製造業者の食品ロス等の指標についても環境負荷低減に関するものがあれば、次期計画の目標策定時に、検討してまいります。

4	<p>湛水直播及び乾田直播の稲作は規模拡大に貢献し資材費や労働時間の軽減とメタンの発生が抑制されるようですが、山形県での取り組み現状はどのようなになっていますか。</p>	<p>令和7年の本県における水稻直播面積は2,644haで、そのうち湛水直播は2,064ha、乾田直播は580haです（農業技術環境課調べ）。</p> <p>近年は乾田直播の面積が増加傾向にあるものの、新たに専用の播種機等が必要となることや、移植栽培よりも多くの除草剤散布を要する等、負担増の面もあることから、導入の費用対効果を整理しつつ、普及拡大を推進してまいります。</p>
---	---	---